

# 図書館だより

## 2022年12月

発行  
西和清陵高校図書委員会  
図書委員 司書



## 冬休み中の図書館

開館日：12月26日(月)・27日(火)

貸出：冊数無制限。

返却は1月10日(火)始業式

図書館だより 新連載!  
先生の高校時代の  
思い出を教えてください!

### K先生 (WEB用)

高校生の頃を振り返ると、最初に  
思い浮かぶのは部活での練習や、  
そこでの友達と色々な話をしたことです。

部活動は茶道部に3年間所属していました。  
週に一度お茶の先生に来て頂き、お点前を教わります。私の密  
かな楽しみは、毎週どんなお茶菓子が出てくるのかということ  
でした。静かな空間で集中してお茶を点てるというあの時間は  
心が落ち着くし、集中力を養う自分にとってとてもプラスになり  
ました。

また活動日以外に自分たちだけで自主練習をしたことも思い  
出です。お茶の先生に教えて頂いたことをもう一度自分ででき  
るか、お互いの作法を披露し合い、意見を出し合って自分たち  
の腕を磨いていきました。自分たちだけのこの時間がすごく楽  
しくて今思うととても尊いものでした。あの時に話をした何気な  
い話題。勉強のこと、進路のこと、テレビのこと、恋のこと…。練  
習しながらもお互い笑い合っているような話をしたり、帰り道に立  
ち寄ってみんなで食べたお肉屋さんの揚げたてのコロッケ。全  
部が楽しくてキラキラした私の大切な思い出です。



### M先生 (WEB用)

薄紅に染まっていく月代前の空を眺めて  
いると、私はいつの間にかボタンを縫い直  
したばかりの学ランを羽織っていた。卒業から  
五年も経つというのに、私の心は未だあの日に  
囚われたままだ。胸の奥に手を当ててみる。記憶の海にゆっくりと沈  
んでいく…。

『…梅田先生、梅田先生、至急職員室までご連絡をお願いします。  
繰り返します…。』

スピーカーから流れる大きな声が放課後の教室を揺らし、私はゆ  
っくりと顔を挙げた。こんな時間まで学校に残っているエリートたち  
はみな自習室に籠っているの、教室は静かなものである。いつの  
間にか眠っていたらしいが、そんなことは気にしないとも言うよう  
に、あなたはそこにいた。ちょうど机を一台挟んで、向かい合うよう  
にして私の眼前にいる。しばらく私はあなたを見つめていたが、何かに  
急かされるように、思わず手を伸ばしていた。だが、まだ幼さの残る  
私の手は虚空を舞った。掴もうとしても、もう決して掴むことができ  
ない。雲のおこうにそびえ立つあの塔のように、過ぎ去ってしまった憧  
憬と、今まさに立ち現れた郷愁は、もう二度と触れられない夢幻とな  
って、ただひたすら私の心に影を落とすのだ。

ふと気がつく、チョークの粉で汚れたスーツに身を包んだ私は、  
手元にある二枚の原稿用紙と向き合っていた。そう遠くない未来に  
手が届かなくなる「高校時代」という限られた時間の中で、あなた  
たちは何をなすべきなのだろうか。



**A型**の私がおすすめする本は  
『ようこそ実力主義の教室へ』です。  
学校を舞台に主人公を含め様々な  
魅力的なキャラクターたちが繰り広  
げる高度な頭脳戦がポイントとなっ  
ております。本格的な頭脳戦が始まる四巻からが特  
にオススメです。一年生編は図書館においてあるの  
でぜひ読んでみてください。



紹介者の血液型別  
冬休みにおすすめの本

**B型**の私が紹介する本は『5分後に意外な結末  
赤い悪夢』です。最近話題になっているこの本ですが  
一つの話がそんなに長くないです。それに現実では起きそうにないことも描かれていて、  
読んでいて楽しい気持ちになります。5分ぐらいで読  
める短い話がたくさん入っていて読み応えがあります。最後には意外  
な結末が待っています。本を読むことが苦手という人でも、気楽に読  
めて楽しい本です。ぜひ読んでみてください!



**AB型**の主な性格を3つ紹介します。

1. 気まぐれな性格をしている
2. 自分の気持ちを伝えるのが苦手
3. 2面性でミステリアス

私はAB型で家族に聞いたところすべて  
当てはまっているみたいです笑。AB型が周りに少なく珍しい  
とよく言われます。もしAB型の方がいれば上の3つに当て  
はまっているか聞いてみてください。図書館にも血液型の本  
をおいているので、ぜひ読んでみてください。



**O型**の司書が推すのは『十二国記』シリーズです。

普通の子供高生が突然現れた美形に「王よ」とか言わ  
れて、異世界に連れていかれる。よくある異世界転生もの  
で、「主人公無双」が始まると思うでしょう。それが美形とは  
はぐれてしまっ言葉もわからん異世界で大変な目にあい  
続けます。そこで読むのをやめてしまおうになる人に十二国記ファンが贈  
る合言葉は「しゃべるネズミが出てくるまで読め!」。そこから始まる主人公  
ターンは前半苦勞した分、スッキリ爽快。このシリーズは面白いのはもちろ  
ん、読後に何か芯のようなものを自分に残してくれます。



図書館ライブ 報告と感想  
～みんなで本を持ち寄って～

11月10日(木)に図書館で15:45～16:15まで参加者約40名で図書館ライブをしました。

今回の図書館ライブでは、自分の好きな本を使って大喜利をしました。私は今まで大喜利をやったことがなかったのでとても難しかったです。でも、お題に合った文章を見つけ出してくる人もいて、面白かったです。そしてなんと!大喜利の最後のお題は「サンタさんは本当にいるのか、いないのか」で、みんないないと思っていたサンタさんがプレゼントを持って西和清陵高校に来てくれました!



今回図書館ライブに参加していた生徒全員クリスマスプレゼントをもらいました。とても楽しい時間でした。また図書館ライブが開催される時はぜひ参加してみてください!



「図書館利用カード」のQRコードから利用できる蔵書検索機能がパワーアップ!



本を検索すると、本校の蔵書以外に三郷町立図書館や青空文庫の同時検索が可能になったうえ、三郷町立図書館の利用カードの作り方も確認できるようになりました!

気になる人は、右上のQRコードから実際に試してみてください。(竹内)

※青空文庫とは…著作権の切れた文学作品をネット上で公開しているサイト。携帯やタブレットで本文を読むことができます。

冬休み直前・新着図書リスト

	書名	ひとこと紹介	著者名	出版者	分類
SNS	『LINE/Facebook/Twitter/Instagram/YouTube/Zoomの「わからない!」をぜんぶ解決する本』	基本から、意外と知らない機能まで		宝島社	007.3
	『IT 弁護士さん、YouTubeの法律と規約について教えてください YouTuberが並ぶ法律相談所』	著作権、情報開示…炎上を避ける法律知識	河瀬季	祥伝社	007.35
	『YouTuberの教科書 視聴者がグングン増える!撮影・編集・運営テクニック』	SNSで発信したい、多くの人に届けたいあなたに	大須賀淳	インプレス	007.35
	『世界一やさしいTwitter集客・運用の教科書   年生』		岳野めぐみ	ソーテック社	675
	『プロ目線のインスタ運用法 平均4.2カ月で1万フォロワーを実現する』		石川侑輝	クロスアイ	675
考え方	『勉強の哲学 来たるべきバカのために』	勉強とは自己破壊	千葉雅也	文藝春秋	002
	『認知バイアス 心に潜むふしぎな働き』	先入観や思い込みを科学する	鈴木宏昭	講談社	141.5
拉致問題	『北朝鮮拉致問題 極秘文書から見える真実』	なんとなく知っているようでよくは知らない拉致問題とは	有田芳生	集英社	391.6
	『めぐみ、お母さんがきつと助けてあげる』		横田早紀江	草思社	391.61
	『拉致と決断』		蓮池薫	新潮社	391.61
科学	『科学と科学者のはなし 寺田寅彦エッセイ集』	フリガナつきだが中身は高度	寺田寅彦	岩波書店	404
	『「量子論」を楽しむ本 ミクロの世界から宇宙まで最先端物理学が図解でわかる!』	携帯やPC、身近に活用される量子論。ゆっくり学ぼう	佐藤勝彦	PHP研究所	421.3
	『寿命図鑑 生き物から宇宙まで万物の寿命をあつめた図鑑』	絵本みたいに読む図鑑	やまぐちかおり	いろは出版	461
社会	『「日本の伝統」の正体』	その伝統って、いつから?	藤井青銅	新潮社	382.1
	『図解・橋の科学 なぜその形なのか?どう架けるのか?』	橋を見る目が変わる	土木学会	講談社	515
	『謎のアジア納豆 そして帰ってきた<日本納豆>』	納豆の源流を探る食紀行	高野秀行	新潮社	619.6
芸術	『日本マンガ全史 「鳥獣戯画」から「鬼滅の刃」まで』	日本人は漫画とともに	澤村修治	平凡社	726.1
	『「楽しい」から強くなれる プロサッカー選手になるために僕が大切にしてきたこと』	サッカー日本代表	遠藤航	ナバールコックス	783.47
短歌	『あなたのための短歌集』	依頼者のためだけに作った歌	木下龍也	ナナロク社	911.1
小説	『許されようとは思いません』	オチで話が形を変える。ミステリー	芦沢央	新潮社	913.6
	『月まで三キロ』	新田次郎文学賞。著者は理系	伊与原新	新潮社	913.6
	『せんせい。』	様々な教師と生徒。短編6つ	重松清	新潮社	913.6
	『あつあつを召し上がれ』	心を温める食べものの記憶	小川糸	新潮社	913.6
	『残穢』	実話が混ざった恐怖の物語	小野不由美	新潮社	913.6
	『善人長屋』	悪党たちが成り行きで善行を	西條奈加	新潮社	913.6
	『吾輩も猫である』	猫好き作家8名の短編集ニャ	赤川次郎他	新潮社	913.6
	『今夜、もし僕が死ななければ』	死に近い人がわかる僕は…	浅原ナオト	新潮社	913.6
	『コンビニ兄弟』	本屋大賞作家のお仕事小説	町田そのこ	新潮社	913.6
	『BUTTER』	犯罪、グルメ、女の友情、狂気	柚木麻子	新潮社	913.6
随筆	『ひとり暮らし』	詩人がつぶやく日常、思い	谷川俊太郎	新潮社	914.6

